

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	石川県	事業実施主体	石川県、金沢市、かほく市、津幡町、内灘町	地域再生計画名	「交流と連携による歴史・文化の薫る賑わいの都市づくり」計画						
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	石川県農林水産部路林管理課森林資源育成GL 小島 秀博、金沢市道路建設課長 木村 裕一、かほく市都市建設課長 山森 幸平、津幡町都市建設課長 酒井 実志、津幡町農林振興課長 八田 信二、内灘町都市建設課長 鼓丸 弘樹								
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度				
	指標1	金沢地域の主要観光施設における観光入込客の増加	8,632千人/年	H21～25の平均	9,844千人/年	H29	11,079千人/年	9,844千人/年	H31	○	市町道や林道の着実な一体的整備が、交流人口の拡大に寄与しており、観光入込客の増加にも繋がっている。
	指標2	間伐面積の向上	0ha	H26	7ha	H29	4ha	14ha	H31	△	林道整備が完了し林道が開通したことから、今まで森林施策が困難であった地域について、充実した森林へのアクセス改善が図られたところである。今後は、間伐作業の効率化が図られることから、目標値を概ね達成できる見込みである。
	指標3	道路の狭隘区間の解消等・円滑化による交通事故の減少	2,306件	H25	2,242件	H29	1,759件	2,178件	H31	○	市町道整備において計画延長の約7割の整備が完了したことが、道路の狭隘区間の解消や円滑化による交通事故の減少に寄与している。
	指標4	老朽化等により機能が低下した林道施設の保全対策	0路線	H26	7路線	H29	3路線	7路線	H31	△	進捗は遅れ気味ではあるが、林道整備が完了したことから、今後は保全対策に重点を置き目標値を概ね達成できる見込みである。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1										
	指標2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度(H29)	最終実績見込み						
特別措置を適用して行う事業	市町道整備事業（整備延長）		68.1km	50.1km	68.1km	計画延長の約7割の整備が完了しており、道路の狭隘区間の解消や円滑化による交通事故の減少に寄与している。残る事業についても引き続き事業の促進を図り、更なるアクセス改善や安全性の確保を図りたい。					
	林道整備事業（整備延長）		0.47km	0.47km	0.47km	最終実績を達成することができ、連絡道路である林道を中間年度までに開通させることができたことから、森林施策が困難であった地域について、充実した森林へのアクセス改善が図られた。今後は、効率的な森林施策等を担う道路としての役割が期待できる。					
	林道の保全対策（路線数）		7路線	3路線	7路線	林道整備を最優先したため、中間年度の実績が3路線と進捗は遅れ気味ではあるが、林道整備が完了したことから、最終年度までには保全対策未実施の4路線について、事業を実施して目標の達成を図りたい。					
その他の事業											
計画外で独自に実施した事業	金沢中央地区都市再生整備計画		金沢市の中心市街地において、歴史的建造物の再整備、公園の改修、無電柱化事業などを実施。			玉川公園改修や尾山神社参道の無電柱化事業、梅ノ橋等の橋梁照明整備による歴史的景観の向上などを実施し、中心市街地の魅力を高め、良質な歩行空間を創出した。H27の北陸新幹線開業とも相まって、交流人口の増加に繋がっている。					
	金沢外環状道路海側幹線事業		金沢都市圏の交通円滑化を図る、地域高規格道路の整備事業。			金沢都市圏の交通円滑化を図る幹線道路であり、供用後は、能登・金沢・加賀を連結し、広域交流を促進することが期待されていることから、早期供用へ向けて、整備を進めている。					
	「MISIAの森」プロジェクト		石川県森林公園内において、森の保全活動、生物多様性の保全の重要性を訴えるプロジェクト。			本州有数の規模を誇る石川県森林公園内において、平成23年5月から森の保全活動を通して生物多様性の保全性を訴える「MISIAの森」プロジェクトにより、子供たち自身が未来を考えていきっかけとなるような「豊かな森」づくりを進めてきたが、引き続きプロジェクトを実施していきたい。（平成32年度までプロジェクト実施予定）					
	津幡町農村定住		町内に住宅を新築・購入する人を対象に奨励金を交付。			本町では、豊かな自然環境を守り伝えるため、農山村においても定住人口を増大させたいと取り組んできているが、いまだ十分ではないので、引き続き奨励金制度を実施し、農山村における定住促進に向けた取組を進めたい。					
	ミルク王国ウチナダプロジェクト		地元産の生乳を活用したオリジナル商品の開発を推進。			ミルク王国ウチナダ認定販売店29店舗のうち14店舗において新商品の開発・改良に取り組み、販売促進を図っており、観光入込客数の増加に寄与している。					
「若者マイホーム取得奨励金」「新婚さん住まい応援事業」		市内に住宅を新築・購入する人を対象に奨励金を交付。			若者世帯の定住人口の増加とともに、かほく市の居住利便性と合わせて観光資源等についても周知が進んだことで、交流人口の増加につながったと考えている。						
④評価方法	評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。										
⑤中間評価の公表方法	各事業主体のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	市町道や林道の一体的整備が着実に図られており、交流人口の拡大による観光入込客の増加や、道路の狭隘区間の解消及び円滑化による交通事故の減少に寄与している。間伐面積の向上や林道施設の保全対策など一部指標において中間目標を達成できていないものの、林道整備を終えたことから最終年度までに目標値は達成できる見込みである。										
⑦今後の方針等	本計画では市町道のアクセス改善や森林整備事業及び関連する事業を実施することにより、観光入込客の増加や、森林の間伐面積向上などが見込まれている。残る事業においても引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進し、更なる地域の活性化を図りたい。										